

令和7年度認定看護管理者教育課程募集要項

	ファーストレベル	セカンドレベル
教育目的	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。	看護管理者として基本的な責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 保険・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。
受講要件	<ol style="list-style-type: none"> 日本国の看護師免許を有する者 看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者 管理業務に関心がある者 	<ol style="list-style-type: none"> 日本国の看護師免許を有する者 看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上ある者 ファーストレベルを修了している者又は看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職員に1年以上就いている者（副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す）
研修開催期間	9月16日（火）～10月23日（木）	6月23日（月）～8月19日（火）
研修日数	20日間	33日間
研修開催方法	オンライン・集合研修	オンライン・集合研修
応募期間	5月15日（木）～5月22日（木）必着	4月3日（木）～4月10日（木）必着
申込時提出書類	<ol style="list-style-type: none"> 認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講申込書* *受講申込書はホームページからダウンロード 	<ol style="list-style-type: none"> 認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講申込書 *受講申込書はホームページからダウンロード 受講要件確認の書類 ・ファーストレベルの修了者は修了証の写し ・ファーストレベル未修了者は勤務証明書
定員	80名	35名
選考方法 選考基準	<p>受講者選考は、認定看護管理者教育運営委員会において以下の視点で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 受講要件を満たしている 問題意識をもっている 	<p>受講者選考は、認定看護管理者教育運営委員会において以下の視点で行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 受講要件を満たしている 看護管理者として自己の取り組むべき課題の論点・論旨が明確である
選考結果通知	7月中旬に本人と所属施設長、看護管理者に通知	5月下旬に本人と所属施設長、看護管理者に通知
受講料	<p>会員：130,000円 非会員：240,000円 *科目レポート審査料を含む。他にテキスト代・資料代を実費徴収</p>	<p>会員：220,000円 非会員：400,000円 *科目レポート審査料を含む。他にテキスト代・資料代を実費徴収</p>
修了要件 等	<ol style="list-style-type: none"> 各教科目の所定時間数の4/5以上の出席がある 各科目レポートの評価がC以上である（A:80点以上、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下） ・認定看護管理者教育運営委員会において、修了要件に基づき審査を行う。 ・修了者には、岩手県看護協会会長名で修了証書を交付する。 	
受講申し込みの 送付先	〒020-0117 岩手県盛岡市緑が丘2丁目4番55号 公益社団法人岩手県看護協会 教育部宛（ファーストレベル又はセカンドレベル受講申し込みと朱書き）	

《個人情報保護》

本会の個人情報保護方針及び規則に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。本会研修申込みに際して得た個人情報は、研修会申込みに伴う諸連絡、研修案内に用い、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取扱うことはいたしません。もし、この範囲を出る場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

《事前準備の研修受講（推奨）》

「論文の書き方」に関する講義を受けたことのない方・文章を書くことに苦手意識がある方は、事前準備として、一般研修の「論理的な課題レポートの書き方」（6月5日）の受講をお勧めします。

令和7年度ファーストレベル教育課程と講師

教科目	単元	教育内容	講師	時間	小計
ヘルスケアシステム論Ⅰ	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	青森県立保健大学 教授 反町吉秀	3	15
	保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会	岩手県立大学看護学部 准教授 後藤未央子	3	
	ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種を理解	岩手県立大学看護学部 准教授 小嶋美沙子	3	
		・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 倫理綱領 看護業務基準	山梨県立大学看護学部 教授 鄭佳紅	6	
組織管理論Ⅰ	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識	宮城大学看護学群 准教授 木村三香	9	15
	看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	岩手保健医療大学 臨床倫理研究センター長 教授 三浦靖彦	6	
人材管理Ⅰ	労務管理の基礎知識	・労働法規・就業規則 ・健康管理（メンタルヘルスを含む） ・雇用形態・勤務体制 ・ハラスメント防止	公益社団法人日本看護協会 労働政策部 看護労働課 課長 土屋あゆみ	6	30
		・ワークライフバランス	川久保病院 総看護師長・認定看護管理者 小松紅実	3	
	看護チームのマネジメント	・看護ケア提供方式 ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用	岩手県立久慈病院 総看護師長・認定看護管理者 藤原理香子	3	
		・チームマネジメント ・リーダーシップとメンバーシップ ・コミュニケーション ・ファシリテーション	青森県立保健大学 健康科学部看護学科 教授 村上真須美	9	
		人材育成の基礎知識	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論	岩手医科大学看護学部 准教授 佐藤奈美枝	
	・人材育成の方法		岩手県立大槌病院 総看護師長・認定看護管理者 村木淳子	3	
資源管理Ⅰ	経営資源と管理の基礎知識	・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済的効果	慶應義塾大学看護医療学部大学院健康マネジメント研究科 准教授 小池智子	9	15
	看護実践における情報管理	・医療・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題（情報リテラシー）	岩手県立大学看護学部 教授 岡田みずほ	6	
質管理Ⅰ	看護サービスの質管理	・サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善	岩手医科大学附属病院 副院長・看護部長・認定看護管理者 佐藤悦子	6	15
		・看護サービスと記録	盛岡赤十字病院 看護部長・認定看護管理者 藤根美知子	3	
		・看護サービスの安全管理	公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部 部長 遠田光子	6	

教科目	単元	教育内容	講師	時間	小計
統合演習Ⅰ	演習	・学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する	岩手県立療育センター 看護部長 認定看護管理者 橋本良子 盛岡市立病院 看護部長 認定看護管理者 村上尚子 盛岡友愛病院 看護部長 認定看護管理者 外館和佳子 未来の風せいわ病院 看護部長 認定看護管理者 山口晴美 岩手医科大学附属病院 副看護部長 認定看護管理者 高橋弘江 岩手県立南光病院 総看護師長 認定看護管理者 伊藤猛 岩手県立軽米病院 総看護師長 認定看護管理者 上山純子 川久保病院 副総看護師長 認定看護管理者 田中晴美	15	15

105 時間

その他	特別講義	現場の困りごとから始める現状分析と問題解決の考え方	有限会社ノトコード 代表取締役 平林慶史	6	12
	開講式 ガイダンス 閉講式	・認定看護管理者教育制度 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修について ・ヒューマンネットワーク	専任教員	6	

12 時間

令和7年度セカンドレベル教育課程と講師

教科目	単元	教育内容	講師	時間	小計
ヘルスケアシステム論Ⅱ	社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化、 社会保障費の(財源)構造と推移	兵庫県立大学 社会科学研究科 特任教授 小山 秀 夫	3	15
	保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療福祉サービスの提供内容の 実際 病院、看護小規模多機能型居宅介 護・訪問看護ステーション等	NPO 法人ホームホスピス秋田理事 長、ホームホスピス秋田訪問看護 ステーション 管理者 中 村 順 子	6	
	ヘルスケアサービス における多職種連携	・多職種によるチームケア提供の実際 と課題	岩手医科大学看護学部 教授 岩 淵 光 子	6	
組織管理論Ⅱ	組織マネジメントの 実際	・組織分析 ・組織の変革	日本赤十字秋田看護大学 学長 原 玲 子	12	30
		・組織の意思決定	オフィス KATSUHARA 代表 勝 原 裕 美 子	6	
	看護管理における倫 理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	東京医療保健大学 大学院 看護学研究科 副学長 教授 手 島 恵	6	
			千葉大学大学院看護学研究院 先端実践看護学研究部門 高度実践看護学講座 教授 酒 井 郁 子	6	
人材管理Ⅱ	人事・労務管理	・人員配置 ・勤務計画	北里大学病院 副院長・看護部長 別 府 千 恵	6	45
		・ワークライフバランスの推進 看護職の健康管理 (シフトワークと健康被害)	日本看護協会 労働政策部看護労働課 看護労働・確保対策担当専門職 奥 村 元 子	6	
		・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント	日本ケア・カウンセリング研究所 所長 品 川 博 二	6	
		・労働災害とその対策	日本看護協会 常任理事 橋 本 美 穂	3	
		・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応	株式会社workup 人事コンサルティング/人事コンサルタント 特定社会保険労務士 内 野 光 明	6	
	多職種チームのマネ ジメント	・人的資源の活用 ・リーダーシップの実際 ・看護補助者の育成	Office. 21 代表 認定看護管理者 工 藤 潤	6	
		・コンフリクトマネジメント	西武文理大学看護学部 客員教授 NKN エグゼクティブディレクター 代表 北 浦 暁 子	6	
人材を育てるマネジ メント	・キャリア開発支援 ・人材育成計画	東京慈恵会医科大学 客員教授 佐 藤 紀 子	6		
資源管理Ⅱ	経営資源と管理の実際	・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果	有限会社アセット・グリア 代表取締役 横 沢 俊 一	6	15
		・適切な療養環境の整備	工学院大学建築学部 学部長・教授 筧 淳 夫	3	

教科目	単元	教育内容	講師	時間	小計
資源管理Ⅱ	看護管理における情報管理	・看護の評価・改善のための情報活用	名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター・看護キャリア支援室 室長・教授 秋山 智 弥	6	
質管理Ⅱ	看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	宮城大学看護学群 教授 金 子 さゆり 岩手県立大学 看護学部 看護教育・管理学講座 教授 岡 田 みずほ	6 6	30
	安全管理	・安全管理の実際	岩手医科大学附属病院 副看護部長 認定看護管理者 鳥 居 明 美	3	
		・安全管理教育 ・法令遵守	岩手医科大学 医療安全学講座 教授 肥 田 圭 介	3	
		・災害対策 BCPの考え方・災害時に看護管理	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 保健医療学専攻 災害医療分野 災害保険医療副センター長 教授 石 井 美恵子	6	
		・災害対策 危機対応力・災害対策本部の 立ち上げと運営シミュレーション	岩手医科大学 救急・災害・総合 医学講座 災害医学分野 教授 眞 瀬 智 彦 ファシリテーター 岩手医科大学附属病院 副看護部長 認定看護管理者 高 橋 弘 江 岩手医科大学 救急・災害・総合 医学講座 災害医学分野 助教 藤 原 弘 之 助教 富 永 綾	6	
統合演習Ⅱ	演習	・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	岩手県立釜石病院 総看護師長 認定看護管理者 笠 寺 容 子 川久保病院 総看護師長 認定看護管理者 小 松 紅 実 栃内病院 看護部長 認定看護管理者 出 口 育 美 岩手医科大学附属病院 副看護部長 認定看護管理者 田 村 ヤス子 盛岡赤十字病院 看護部長 認定看護管理者 藤 根 美知子	27	45

	単元	教育内容	講師	時間	
統合演習Ⅱ	実習	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携を理解するための他施設実習を行う (実習施設は、受講者自身の所属種別以外の施設とする) 	専任教員	18	

180 時間

その他	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理者教育制度 ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修について ・ヒューマンネットワーク 	専任教員	6	
-----	-------	---	------	---	--

6 時間